HiKOKI

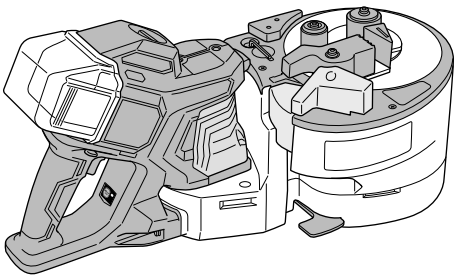
取扱説明書

用途
●コンクリート補強用に使用する鉄筋の
切断および曲げ作業

コードレス鉄筋カットベンダ

16 mm VB 3616DA

このたびは弊社製品をお買い上げいただき、
ありがとうございました。
ご使用前にこの取扱説明書を良くお読みになり、
正しく安全にお使いください。
お読みになった後は、いつでも見られる所に
大切に保管してご利用ください。



本製品は日本国内用のため、日本国外で販売または使用することはできません。日本国外で使用した場合は、仕様上の性能を発揮できない恐れがあります。日本国外では、修理または保証を受けられません。
This product may be used only in Japan and should not be sold or used in any other country. Otherwise, product may not perform as intended. No authorized service or warranty is available outside of Japan.

はじめに
コードレス工具の安全上のご注意… 1
本製品の使用上のご注意…… 5
USB 機器との接続時のご注意 …… 6
ラベルの説明…… 7
リチウムイオン電池の使用上のご注意… 9
各部の名称…… 11
仕様…… 13
標準付属品…… 15
別売部品…… 16

使い方
機体のすえ付け…… 17
蓄電池の取りはずし・取付け…… 18
スイッチの操作について…… 19
カッタ、曲げローラーの逆回転方法… 20
電池残量について…… 21
警告シグナルについて…… 22
切断する…… 23
曲げる…… 27
蓄電池を充電する…… 31
USB 機器を充電する …… 33

その他
保守・点検…… 35
故障診断…… 38
ご修理のときは……裏表紙

⚠警告、⚠注意、注 の意味について

⚠警告 ：**誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。**

⚠注意 ：**誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。**

注 ：**製品のすえ付け、操作、メンテナンスに関する重要なご注意。**

なお、⚠注意に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

コードレス工具の安全上のご注意

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- 使用前に、この「安全上のご注意」すべてを良くお読みの上、指示に従って正しく使用してください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

⚠警告

① 専用の充電器や蓄電池を使用してください。

この取扱説明書および弊社カタログに記載されている指定の充電器や蓄電池を使用してください。

指定以外の蓄電池を使用すると、破裂して傷害や損害を及ぼす恐れがあります。

② 正しく充電してください。

- 充電器は、定格表示してある電源で使用してください。直流電源、昇圧器などのトランス類では使用しないでください。

  異常に発熱し、火災の恐れがあります。
- 充電器の使用温度範囲外では、蓄電池を充電しないでください。正しく充電されないばかりか、蓄電池の寿命が短くなります。

  また、破裂や火災の恐れがあります。
- 蓄電池は、換気の良い場所で充電してください。充電中、蓄電池や充電器を布などでおおわないでください。破裂や火災の恐れがあります。
- 使用しない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

  感電や火災の恐れがあります。

③ 蓄電池の端子間を短絡（ショート）させないでください。

釘袋などに入れると、短絡（ショート）して、発煙･発火･破裂などの恐れがあります。

⚠警告

④ 蓄電池の内部に、水のような導電性の液体を入れないでください。
発熱・発火・破裂の恐れがあります。

⑤ 感電に注意してください。
ぬれた手で、充電器の電源プラグに触れないでください。
感電の恐れがあります。

⑥ 作業場や保管場所の周囲状況も考慮してください。
- 工具本体・充電器・蓄電池は、雨の中や湿った場所で使用・放置・保管をしないでください。感電や発煙の恐れがあります。
- 作業場は十分に明るくしてください。
  暗い場所での作業は、事故の原因になります。
- 可燃物、可燃性あるいは腐食性の液体やガスがある所での使用・充電・保管をしないでください。発火や火災の恐れがあります。

⑦ 保護メガネを使用してください。
作業時は、保護メガネを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。
切削した物や粉じんが目や鼻に入る恐れがあります。

⑧ 加工する物をしっかりと固定してください。
加工する物を固定するために、クランプや万力などを利用してください。
手で保持するより安全で、両手でコードレス工具を使用できます。
固定が不十分な場合は、加工する物が飛んで、けがの原因になります。

⑨ 次の場合は、コードレス工具のスイッチを切り、蓄電池を工具本体から抜いてください。
- 使用しない、または、修理・調整・点検する場合。
- 付属品や別売部品を取付け、交換する場合。
- その他、危険が予想される場合。
  コードレス工具が作動して、けがの原因になります。

⑩ 不用意な始動は避けてください。
スイッチに指を掛けて運ばないでください。
コードレス工具が作動して、けがの原因になります。

⑪ 指定の付属品やアタッチメントを使用してください。
この取扱説明書および弊社カタログに記載されている指定の付属品やアタッチメントを使用してください。
事故やけがの原因になります。

⑫ 蓄電池を火の中に投入しないでください。
破裂して、有害物質が出る恐れがあります。

⚠注意

① 作業場は、いつもきれいに保ってください。
散らかった場所や作業台は、事故の原因になります。

② 子供を近づけないでください。
- 作業者以外、コードレス工具や充電器のコードに触れさせないでください。けがの原因になります。
- 作業者以外、作業場へ近づけないでください。けがの原因になります。
- 安全に責任を負う人の監視または指示がないかぎり、補助を必要とする人が単独で使用しないでください。

③ 使用しない場合は、きちんと保管してください。
- 乾燥した場所で、子供の手の届かない高い所または鍵のかかる所に保管してください。事故の原因になります。
- 工具本体や蓄電池を、温度が 50℃以上に上がる可能性のある場所 (金属の箱や夏の車内など) に保管しないでください。
  蓄電池劣化の原因になり、発煙、発火の恐れがあります。

④ 無理して使用しないでください。
- 安全に能率良く作業するために、コードレス工具の能力に合った速さで作業してください。能力以上での使用は、事故の原因になります。
- モーターがロックするような無理な使い方はしないでください。
  発煙、発火の恐れがあります。

⑤ 作業に合ったコードレス工具を使用してください。
- 小形のコードレス工具やアタッチメントは、大形のコードレス工具で行う作業には使用しないでください。けがの原因になります。
- 指定された用途以外に使用しないでください。けがの原因になります。

⑥ きちんとした服装で作業してください。
- だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、着用しないでください。
  回転部に巻き込まれる恐れがあります。
- 屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑り止めの付いた履物の使用をお勧めします。
  滑りやすい手袋や履物は、けがの原因になります。
- 長い髪は、帽子やヘアカバーなどでおおってください。
  回転部に巻き込まれる恐れがあります。

⑦ 充電器のコードを乱暴に扱わないでください。
- コードを持って充電器を運んだり、コードを引いてコンセントから抜いたりしないでください。
- コードを熱、油、角のとがった所に近づけないでください。
- コードが踏まれたり、引っ掛けられたり、無理な力を受けて損傷することがないように、充電する場所に注意してください。感電や短絡 (ショート) して発火する恐れがあります。

⑧ 無理な姿勢で作業をしないでください。
常に足元をしっかりさせ、バランスを保つようにしてください。
転倒して、けがの原因になります。

⑨ コードレス工具は、注意深く手入れをしてください。
- 安全に能率良く作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、良く切れる状態を保ってください。損傷した刃物類を使用すると、けがの原因になります。

⚠注意

- 付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。けがの原因になります。
- 充電器を使用する前に、電源プラグやコードを点検し、損傷している場合は、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。
  感電や短絡 (ショート) して発火する恐れがあります。
- 充電器に延長コードを使用する場合は、事前に点検し、損傷している場合には交換してください。感電や短絡 (ショート) して発火する恐れがあります。
- 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリースが付かないようにしてください。けがの原因になります。

⑩ 調節キーやスパナなどは、必ず取りはずしてください。

スイッチを入れる前に、調節に用いたキーやスパナなどの工具類が取りはずしてあることを確認してください。付けたままでは、作動時に飛び出して、けがの原因になります。

⑪ 屋外使用に合った延長コードを使用してください。

屋外で充電する場合、キャブタイヤコードまたはキャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。

⑫ 油断しないで十分注意して作業をしてください。

- コードレス工具を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周りの状況など、十分注意して慎重に作業をしてください。軽率な行動をすると、事故やけがの原因になります。
- 常識を働かせてください。非常識な行動をすると、事故やけがの原因になります。
- 疲れている場合は、使用しないでください。事故やけがの原因になります。

⑬ 損傷した部品がないか点検してください。

- 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
- 可動部分の位置調整および締付け状態、部品の破損、取付け状態、その他、運転に影響を及ぼすすべての箇所に異常がないか確認してください。
- 落下など、何らかの損傷を受けた充電器は使用しないでください。
  感電や短絡 (ショート) して発火する恐れがあります。
- 破損した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。
- スイッチで始動および停止操作のできないコードレス工具は、使用しないでください。誤作動して、けがの原因になります。

⑭ コードレス工具の修理は、専門店に依頼してください。

- サービスマン以外の人は、工具本体・充電器・蓄電池の分解・修理・改造をしないでください。発火や誤作動など、けがの原因になります。
- コードレス工具が高温になるなど、異常に気付いたときは、点検・修理に出してください。
- この製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
- 修理は、お買い求めの販売店に依頼してください。ご自分で修理すると、事故やけがの原因になります。

本製品の使用上のご注意

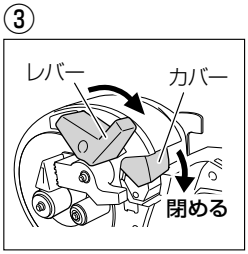
先にコードレス工具として共通の注意事項を述べましたが、コードレス鉄筋カットベンダとして、さらに次に述べる注意事項を守ってください。

⚠警告

① **作業中および保守・点検の際は、周りの人にも保護メガネを使用させてください。**
鉄粉が目に入る可能性があります。

② **仕様欄にある機体の能力を超えた作業はしないでください。**
また、PC 鋼などのかたい材料を切断したり、曲げたりしないでください。
機体の故障や、事故の原因になります。

③ **切断作業時以外は、カッタ部のカバーを閉めてください。**
カバーを開けたままにしておくと、カッタ部に異物をかみ込む恐れがあり、事故の原因になります。



④ **スイッチを操作する際には、カッタ、反力受け部および曲げローラー部には手を近づけないでください。**

⑤ **連続使用後は、インナカバーやギヤカバーには手を触れないでください。**
機体を連続で使用すると、インナカバーやギヤカバーが熱くなる場合があります。

⑥ **使用中、機体の調子が悪かったり、異常音、異常振動がしたりするときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い求めの販売店に点検・修理を依頼してください。**

⑦ **誤って落としたり、衝撃が加わったりしたときは、カッタや工具本体、および蓄電池などに破損や亀裂、変形がないことを点検してください。**
けがや発煙、発火の原因になります。

⑧ **工具本体、および蓄電池の端子部（蓄電池取付部）に変形が生じた場合は、使用しないでください。**
短絡（ショート）して、発煙・発火の恐れがあります。

⑨ **工具本体の端子部（蓄電池取付部）に、切りくずやほこりがたまらないようにしてください。**

- 使用前に、端子部に切りくず、ほこりがたまっていないことを確認してください。
- 作業中に、機体に付いた切りくず、ほこりが端子部に降りかからないようにしてください。
- 使用中断時、および使用後に切りくず、ほこりが降りかかる場所に機体を放置しないでください。
  短絡（ショート）して、発煙・発火の恐れがあります。

⚠注意

① **警告ラベルが見えなくなったり、はがれたり、不鮮明になった場合は新しい警告ラベルと取り換えてください。**
警告ラベルはお買い求めの販売店に依頼してください。

② **スイッチパネルに強い衝撃を与えたり、破いたりしないでください。**

③ **蓄電池は確実に取付けてください。**
確実でないと、蓄電池が抜け落ちて、けがの原因になります。

④ **蓄電池を一般のごみと一緒に捨てないでください。**

⑤ **蓄電池は子供の手の届かない所に保管してください。**

⑥ **蓄電池の仕様表示に従って正しく使用してください。**

○騒音防止規制について
騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制があります。
ご近所に迷惑をかけないよう、規制値以下でご使用になることが必要です。
状況に応じ、しゃ音壁を設けて作業してください。

USB 機器との接続時のご注意

本製品に標準付属 (NN 仕様を除く) されている充電器には、電動工具用リチウムイオン電池を充電する以外に、一般の USB 機器を充電できる USB 端子を装備しています。

USB 機器を充電する際は、以下の内容を守ってください。

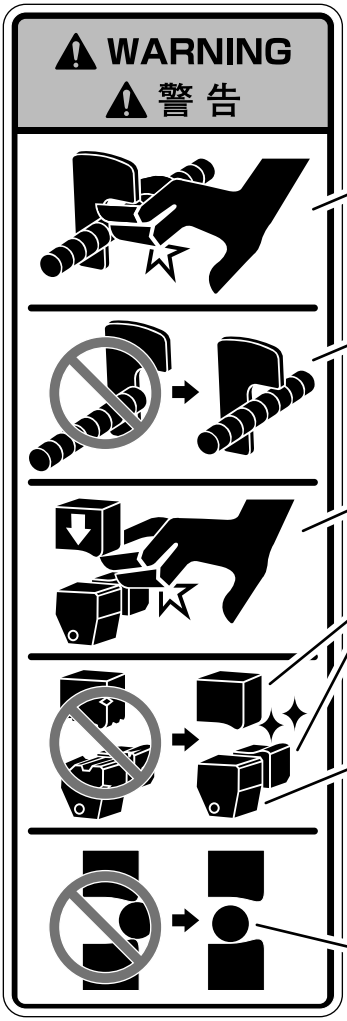
予期できない問題が生じた場合、接続した USB 機器の内部に保存されているデータが破損や消失する可能性があります。万一の場合に備えて、必ず事前にバックアップをしてください。

なお、USB 機器との接続において、USB 機器の内部に保存されているデータの破損または消失および接続機器の故障については、いかなる場合においても弊社では責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

ラベルの説明

機体に貼り付けてあるラベルについて説明します。
良くお読みになり、正しくお使いください。

警告ラベル（切断）



運転中は、反力受けに手を近づけないでください。
指を挟むなど、けがの原因になります。

切断作業時、鉄筋は反力受けに確実にかけて作業をしてください。
また、 反力受けにかける鉄筋の長さは十分に確保してください。

運転中は、絶対にカッタに手を近づけないでください。

カッタが摩耗したまま使用すると破損して破片が飛散する場合があります。
切断回数8,000回位を目安に新しいカッタと交換してください。

グリップラバーが摩耗すると鉄筋を保持しにくくなり、鉄筋端材が飛散する恐れがあります。
鉄筋を保持しにくくなったら、新しいグリップラバーと交換してください。

切断作業時、鉄筋は必ずカッタの中央または奥に正しくセットしてください。
カッタの端部にセットしたまま切断作業をすると、鉄筋の飛散やカッタ、機体が破損する原因になります。

警告ラベル (曲げ)

鉄筋に手を添えながら、大きな角度に曲げると、鉄筋の折り返しにより手を挟み込む恐れがあります。

曲げ材料の旋回範囲に人がいないことを確認してから、作業してください。

警告ラベル (バッテリーカバー)

使用中および保管時はバッテリーカバーを取付けてください。

リチウムイオン電池の使用上のご注意

本製品にはリチウムイオン電池が標準で付属されております。(NN 仕様を除く)
リチウムイオン電池の寿命を長くする目的で出力を停止する保護機能が付いています。

本製品を使用中、スイッチを引いたままでも下記 ①、②、③ の場合、モーターが停止する場合がありますがこれは保護機能によるものであり故障ではありません。

① 電池残量が少なくなるとモーターが停止します。
速やかに充電してください。

② 工具本体が過負荷状態になるとモーターが停止する場合があります。
スイッチを切り、過負荷の原因を取り除いてください。

③ 蓄電池が過熱状態になるとモーターが停止する場合があります。
蓄電池の使用を中断し、工具本体より取りはずして、風通しの良い日かげなどで蓄電池を十分に冷ましてください。

再びご使用になれます。

さらに次項に述べる注意事項を守ってください。

⚠警告

蓄電池の液漏れ、発熱・発煙・発火を未然に防ぐため以下の内容を必ず守ってください。

① 蓄電池に切りくずやほこりがたまらないようにしてください。

- 作業中に切りくずが蓄電池に降りかからないようにしてください。
- 作業中に機体に付いた切りくず、ほこりが蓄電池に降りかからないようにしてください。
- 使用しないときに切りくず、ほこりが降りかかる場所に蓄電池を放置しないでください。
- 保管時、蓄電池は切りくず、ほこりを落とし、金属製の部品 (ねじ、釘など) とは別々にしてください。

② 蓄電池に釘をさす、ハンマーでたたく、踏みつける、投げつけるなど強い衝撃を与えないでください。

③ 外傷、変形の著しい蓄電池は使用しないでください。

④ (＋)(ー) を逆にして使用しないでください。

⑤ 蓄電池を直接、コンセントや車のシガーライターソケットに接続しないでください。

⑥ 蓄電池を指定機器以外の用途に使わないでください。

⑦ 蓄電池を電子レンジや高圧容器に入れるなど、過熱・高圧を与えないでください。

⚠警告

⑧ **蓄電池が液漏れしたり、異臭を発したりするときは直ちに火気より遠ざけてください。**

⑨ **強い静電気の発生する場所では使用しないでください。**

⑩ **蓄電池の使用、充電、保管時に異臭・発熱・変色・変形、その他異常に気が付いたときは、直ちに使用を中止して、お買い求めの販売店に相談してください。**

⚠注意

① **蓄電池が液漏れして液が目に入ったときは、こすらずにすぐ水道水などのきれいな水で十分に洗った後、直ちに医師の治療を受けてください。**
放置すると液により目に障害を与える原因になります。

② **蓄電池が液漏れして液が皮膚や衣類に付着した場合は、直ちに水道水などのきれいな水で洗い流してください。**
皮膚がかぶれたりする原因になる恐れがあります。

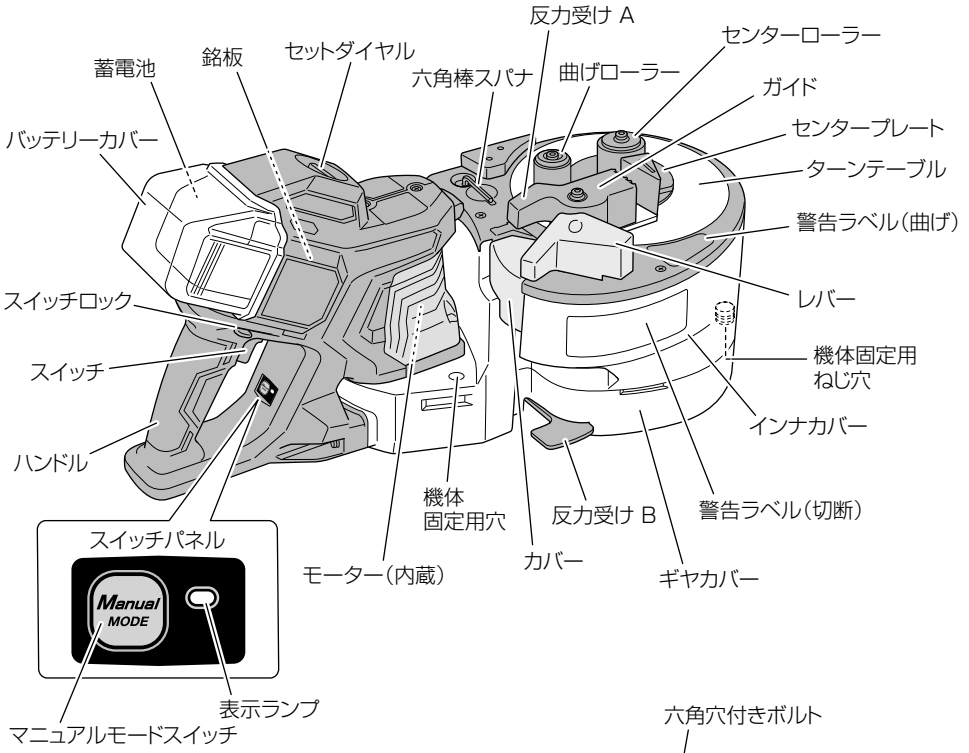
蓄電池はリサイクルへ

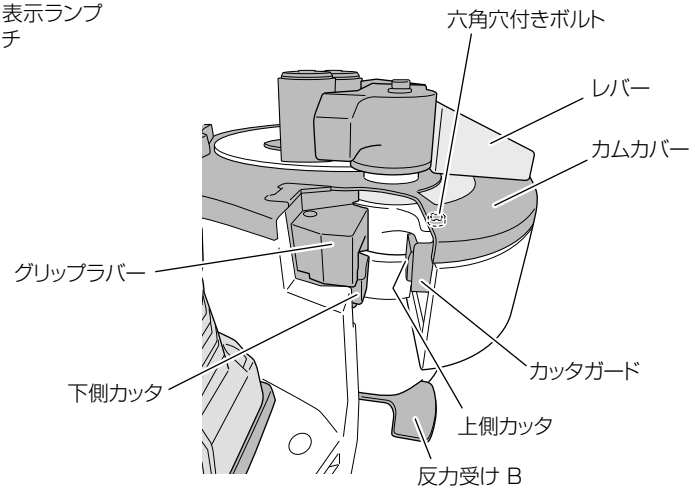
蓄電池はリサイクル可能な貴重な資源です。蓄電池や製品の廃棄の際は、リサイクルにご協力いただき、お買い求めの販売店にご持参ください。

○ **新しい蓄電池は、弊社純正品をご使用ください**
弊社指定の蓄電池以外の使用や分解、改造した物（蓄電池を分解してセルなどの内蔵部品を交換した物を含みます）は、安全性や製品に関する保証はできません。

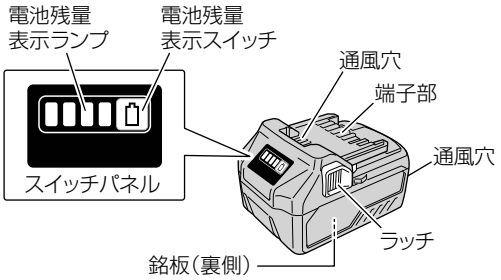
各部の名称

工具本体

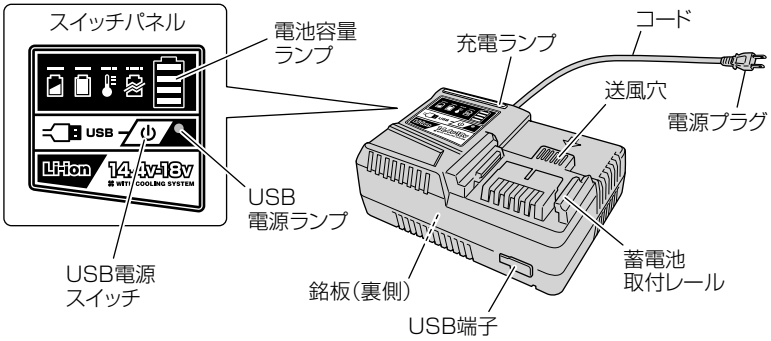

反力受け A
センターローラー
蓄電池
銘板
セットダイヤル
六角棒スパナ
曲げローラー
ガイド
バッテリーカバー
センタープレート
ターンテーブル
警告ラベル(曲げ)
スイッチロック
レバー
スイッチ
機体固定用
ねじ穴
インナカバー
ハンドル
機体
固定用穴
反力受け B
警告ラベル(切断)
スイッチパネル
モーター(内蔵)
カバー
ギヤカバー
Manual
MODE
表示ランプ
マニュアルモードスイッチ


六角穴付きボルト
レバー
カムカバー
グリップラバー
カッタガード
下側カッタ
上側カッタ
反力受け B

蓄電池


電池残量
表示ランプ
電池残量
表示スイッチ
通風穴
端子部
通風穴
スイッチパネル
ラッチ
銘板(裏側)

充電器


スイッチパネル
電池容量
ランプ
充電ランプ
コード
送風穴
電源プラグ
USB
Li-ion
14.4v-18v
USB
電源ランプ
USB電源
スイッチ
銘板(裏側)
蓄電池
取付レール
USB端子

仕　様

1. 工具本体

形　　名	VB 3616DA	
モ　ー　タ　ー	直流ブラシレスモーター	
能　　力	材質 SD 295、SD 345 鉄筋 、D 10、D 13，D 16	
同時に加工できる本数	切　断	D 10 mm：2 本 D 13 mm：1 本 D 16 mm：1 本
	曲　げ	D 10 mm：3 本 D 13 mm：2 本 D 16 mm：1 本
寸　　法 全長 × 高さ × 全幅	510 × 255 × 230 mm	
質　　量	18.6 kg (BSL 36A18 装着時)	
使用可能蓄電池※	マルチボルトタイプ蓄電池	

※ 既存の蓄電池 (BSL 3660 / 3626 / 3620、および BSL 18xx、BSL 14xx シリーズ) は使用できません。

2. 蓄電池

形　　名	BSL 36A18
種　　類	円筒密閉形リチウムイオン電池
電　池　電　圧	36 V / 18 V (自動切替※1)
容　　量	2.5 Ah / 5.0 Ah (自動切替※1)
冷　　却	対応
使用可能コードレス製品	18 V 品※2 36 V 品：マルチボルトタイプ蓄電池対応製品
使用可能充電器	スライド式リチウムイオン電池対応充電器
残量表示ランプ	緑色 LED

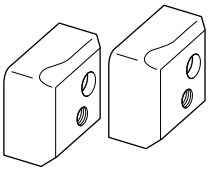
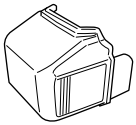
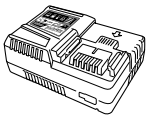
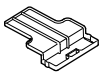
※1：工具本体により自動で切り替わります。
※2：詳細は弊社総合カタログなどで確認してください。

3. 充電器

形名		UC 18YDL		
充電可能蓄電池		リチウムイオン電池 14.4 V (BSL14xxシリーズ)、18 V (BSL18xxシリーズ)、 マルチボルトタイプ蓄電池		
入力電源		単相交流 50 / 60 Hz 共用　電圧 100 V		
蓄電池	充電電圧	14.4 V または 18 V		18 V
	タイプ	標準	薄型軽量	マルチボルト
	充電時間※1 [気温20℃時]	BSL 1460 BSL 1860 : 約 30 分 BSL 1450 BSL 1850 : 約 25 分 BSL 1440 BSL 1840 : 約 20 分 BSL 1430 BSL 1830 : 約 15 分	BSL 1430C BSL 1830C : 約 30 分 BSL 1425 BSL 1825 : 約 25 分 BSL 1420 BSL 1820 : 約 20 分 BSL 1415 BSL 1815 : 約 15 分	BSL 36A18 : 約 25 分 BSL 36B18 : 約 40 分 BSL 36C18 : 約 15 分
	充電電流	12.0 A	6.0 A	12.0 A
USB端子	充電電圧	5 V		
	充電電流	2 A		
コード		2 心ビニールコード		
質量		0.8 kg		
使用温度範囲※2		−10 ～ 40℃		
冷却		対応 (ファン付き)		
ブザー音		あり		

※1 : 蓄電池の充電時間は、使用環境や蓄電池の状態により長くなるときがあります。
※2 : 周囲温度が0℃未満のときは、充電時間が長くなります。

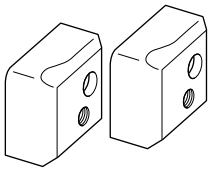
標準付属品

品名・形名 ＼ 工具本体仕様	VB 3616DA	
	XP	NN
カッタ（本体装着） 	1 セット	1 セット
六角棒スパナ（本体装着） （M５六角穴付ボルト用）	1 本	1 本
蓄電池 BSL 36A18（本体装着）	1 個	−
バッテリーカバー（本体装着） 	1 個	1 個
充電器 UC 18YDL 	1 台	−
電池カバー 	1 個	−

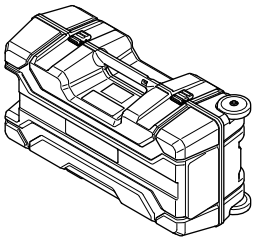
別売部品（別売部品は生産を打ち切る場合がありますので、ご了承ください。）

詳しくは、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

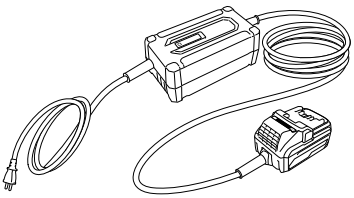
カッタ
（1 セット 2 コ入り）



収納ケース

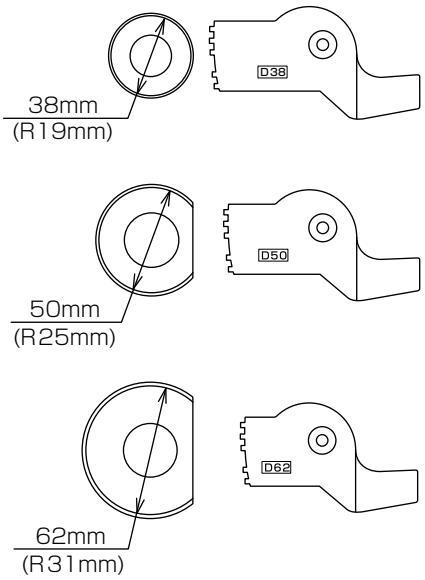


AC / DC アダプタ (ET 36A)
AC 100 V を DC 36 V に変換して、AC 工具のように使用することができます。



センターローラーセット
センターローラーの摩耗交換の場合は、D 38 セットを選んでください。
ほかにも D 50、D 62 の曲げ半径サイズを揃えています。

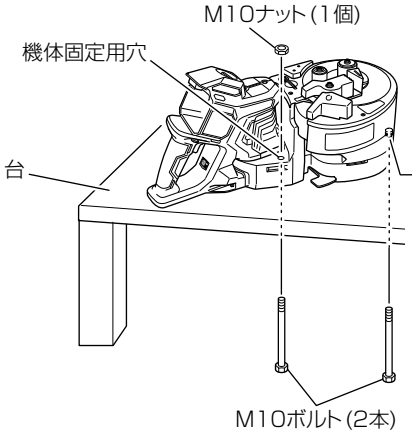
製品名	仕　様
D 38 セット	標準付属 (曲げ半径：R 19)
D 50 セット	曲げ半径を R 25 へ変更
D 62 セット	曲げ半径を R 31 へ変更

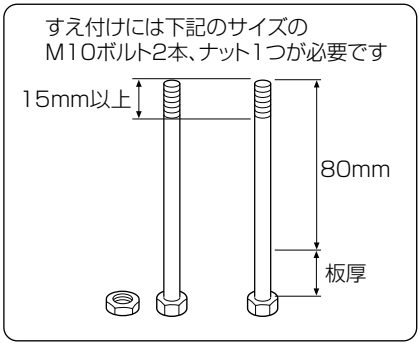


機体のすえ付け

本製品を使用する際は、床や地面の安定した所に置いてください。

機体固定用穴が機体中央に1か所と、ねじ穴がインナカバー切り欠き部に1か所あります。
機体を作業台などに固定してすえ付ける場合は、使用してください。



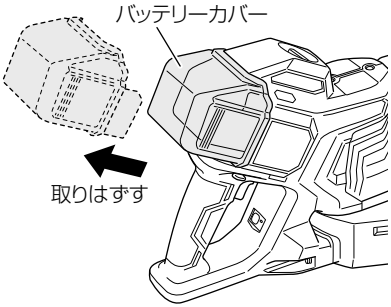


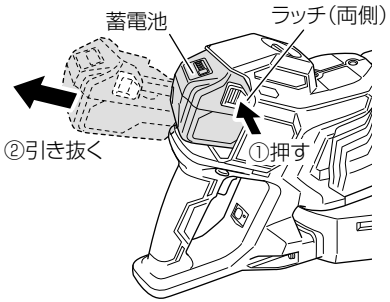
蓄電池の取りはずし・取付け

取りはずすとき

バッテリーカバーを取りはずしてから、蓄電池を取りはずします。

蓄電池を工具本体から取りはずすときは、両側のラッチを押しながら、スライドさせて引き抜きます。

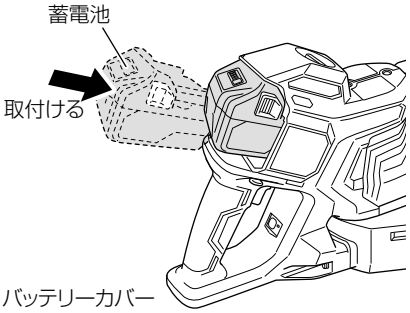


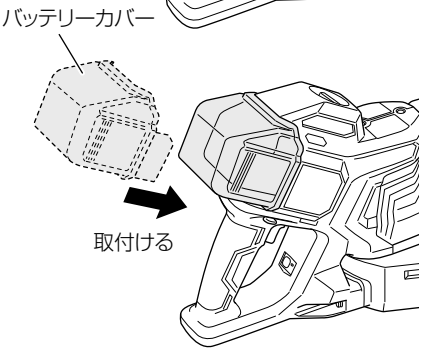


取付けるとき

蓄電池を取付けるときは、「カチッ」と音がするまでしっかりと押し込んでください。

その後、バッテリーカバーを取付けます。





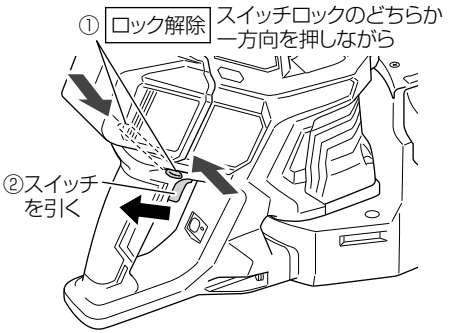
注 **作業するときはバッテリーカバーを装着してください。**
鉄筋の破片が電池端子部に入り込むと故障の原因となります。

スイッチの操作について

本製品は、不用意なスイッチ操作を防止するために、スイッチロックが付いています。

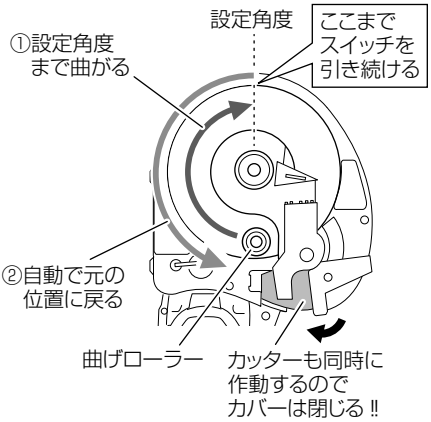
スイッチロックを矢印のどちらか一方向に押しながらスイッチを引くと、モーターが作動を開始します。

スイッチが入った後は、スイッチロックをはなしても、スイッチを引いているかぎり作動を続けます。



①の範囲でスイッチをはなすと、作動にブレーキがかかり停止します。
カッタや曲げローラを元の位置に戻すには、P.20「カッタ、曲げローラーの逆回転方法」を参照してください。

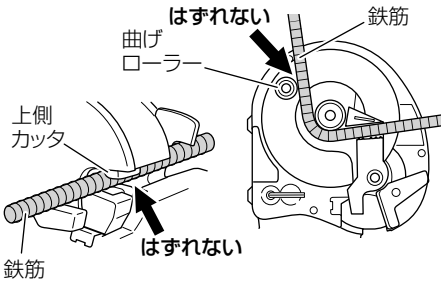
②の範囲でスイッチをはなすと、上側カッタや曲げローラーは、自動で元に戻ります。



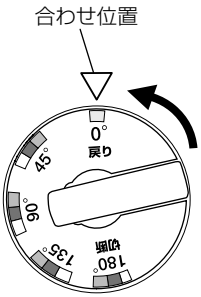
カッタ、曲げローラーの逆回転方法

作業途中にスイッチをはなした場合、カッタや曲げローラーが静止して鉄筋が挟まり、はずせなくなる場合があります。このようなときは、モーターを逆回転させカッタや曲げローラーを元に戻します。

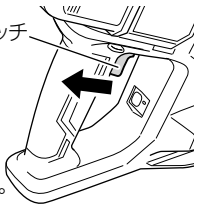
途中でカッタや曲げローラーを戻すには、下記の 2 通りの方法があります。



セットダイヤルを「戻り」に設定



① セットダイヤルを **戻り** の位置に合わせる



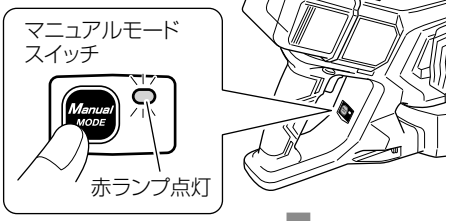
② もう一度スイッチを引く

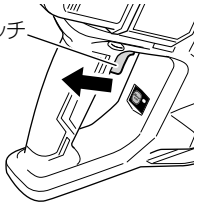
逆回転モード

戻り始めたら、スイッチをはなしても元の位置まで戻ります。

マニュアルモードスイッチを押して戻す

① マニュアルモードスイッチを押す





② もう一度スイッチを引く

逆回転モード

スイッチを引いている間だけ戻ります。元の位置まで戻ると止まります。

③ 元の位置に戻ったらマニュアルモードスイッチを押す

正転モード

注 **逆回転モードのままでは動きませんので、マニュアルモードスイッチを押して逆回転を解除してください。**

電池残量について

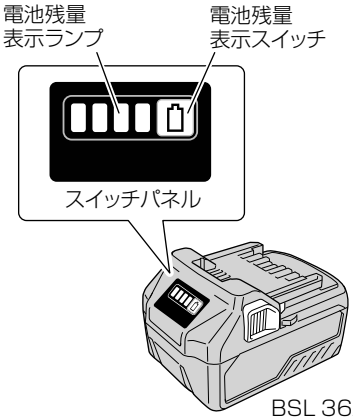
●電池残量表示について

電池残量表示スイッチを押すとランプが点灯して、電池残量を確認することができます。

電池残量表示スイッチを押してから、約３秒後にランプは消灯します。

電池残量表示は、使用環境、電池特性等で多少異なりますので目安として見てください。

また、残量表示機能のある製品側、および充電器側の残量表示と異なる場合があります。



ランプの点灯状態		電 池 残 量
	点灯	75% 以上
		50% ～ 75% 未満
		25% ～ 50% 未満
		25% 未満
	点滅	0%
		高温のため出力停止※1
		故障のため出力停止※2

※1：蓄電池を工具本体より取りはずし、十分に冷ましてください。

※2：蓄電池の故障と考えられますので、お買い求めの販売店に相談してください。

●１充電当たりの作業量について

作業量は、使用環境、蓄電池特性、材料のばらつきなどにより多少異なります。

（蓄電池 BSL 36A18 使用時）

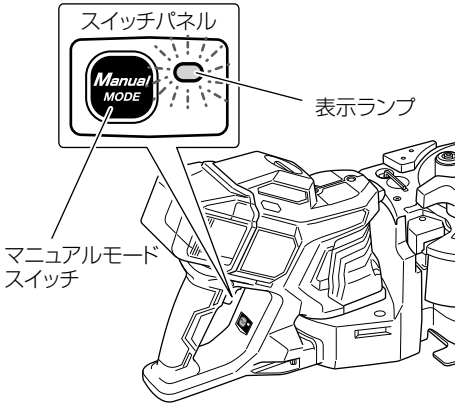
切　断	D 10／SD 295		２本同時切断	350 本
	D 13／SD 295			170 本
	D 16／SD 345			130 本
曲　げ	D 10／SD 295	90°	３本同時曲げ	630 本
	D 13／SD 295	90°	２本同時曲げ	310 本
	D 16／SD 345	90°	１本曲げ	140 本

警告シグナルについて

本製品は、工具本体および蓄電池を保護する機能が付いています。

作業中に各保護機能が作動すると、スイッチを引いている間とスイッチをはなしてから約３秒間、マニュアルモードスイッチの表示ランプが以下のように点滅してお知らせします。

各保護機能が作動したときは、直ちにスイッチから指をはなし、対処方法に従ってください。



保護機能	ランプの表示	対処方法
過負荷保護	0.1 秒点灯 /0.1 秒消灯 ▮▮▮▮▮▮▮▮▮▮▮▮▮▮▮▮▮▮▮▮ (速い点滅)	大きな負荷となった原因を取り除いてください。
温度保護	0.5 秒点灯 /0.5 秒消灯 ▬ ▬ ▬ ▬	工具本体および蓄電池を十分に冷却してください。

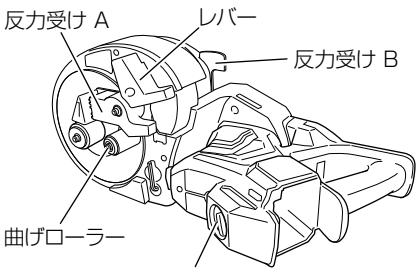
切断する

⚠警告

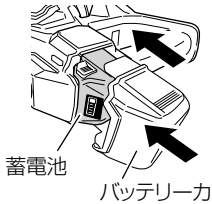
運転中は、カッタや反力受け A、B 部に手を近づけないでください。

●カッタとグリップラバーの点検

1 機体を下図の姿勢にする

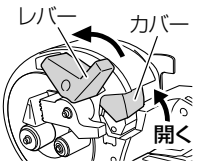


2 蓄電池とバッテリーカバーを取付ける



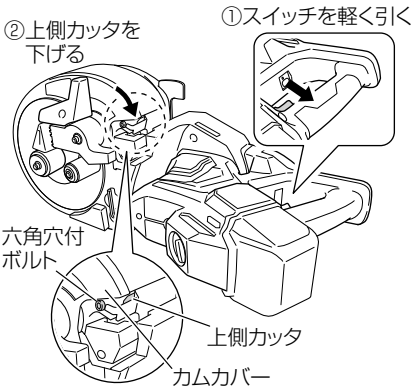
3 カバーを開ける

レバーを矢印の方向に回し、カバーを開けます。



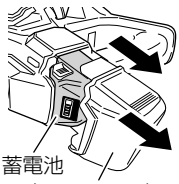
4 上側カッタを下げる

スイッチを軽く引いて、上側カッタをゆっくり動かします。上側カッタがカムカバーの外に出てきて、六角穴付きボルトが完全に見える位置になったら、スイッチをはなしてその位置で停止させます。



5 バッテリーカバーと蓄電池を取りはずす

誤ってスイッチを引いて作動することを防ぎます。



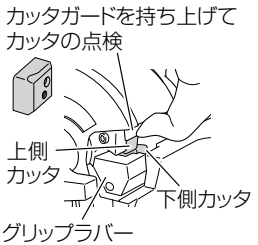
⚠警告

- **カッタを取付けている六角穴付ボルトの締付けを確認してください。**
  ゆるんだ状態で使用すると、機体やカッタの破損・事故の原因になります。
- **グリップラバーが摩耗したら、新品と交換してください。**
  グリップラバーが摩耗すると鉄筋を保持しにくくなり、鉄筋端材が飛散するなどの恐れがあります。グリップラバーの交換は、お買い求めの販売店に依頼してください。

6 カッタに異常がないことを確認する

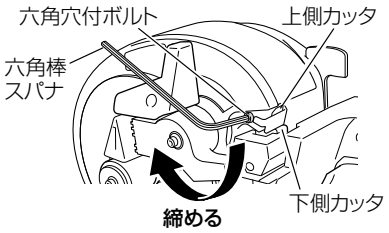
カッタに、摩耗・変形・欠け等の異常がないことを確認してください。

交換が必要な場合は P.26「カッタの交換」を参照してください。

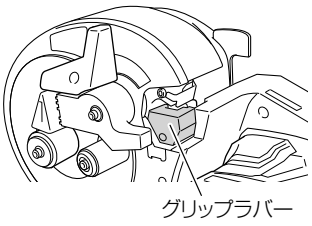


7 カッタの締付けを確認する

六角穴付ボルトがしっかりと締付けられていることを、付属の六角棒スパナで確認してください。

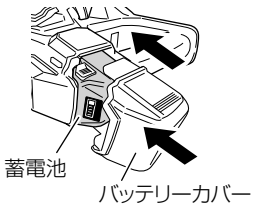


8 グリップラバーが摩耗していないか確認する



9 スイッチロックがロック状態であることを確認する

10 蓄電池とバッテリーカバーを取付ける

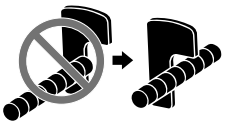


●切断

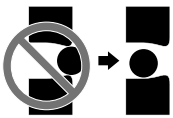
P.23 の手順❶～⑩の後、以下に従ってください。

⚠警告

- **切断作業中でも、曲げローラーが動いています。手を近づけないでください。**
- **鉄筋（SD 295、SD 345）以外の材質を切断しないでください。**
  材料が折れて飛散するなどの恐れや、機体の破損の原因になります。
- **切断作業時、鉄筋は反力受け B 部に確実にかけて作業をしてください。また、反力受け B 部にかける鉄筋の長さは十分に確保してください。**



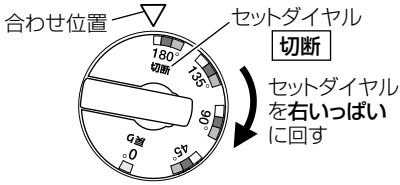
- **切断作業時、鉄筋はカッタの中央または奥に正しくセットしてください。**
  カッタの端部にセットしたまま切断作業をすると、鉄筋の飛散や、カッタ、機体の破損の原因になります。



⚠注意

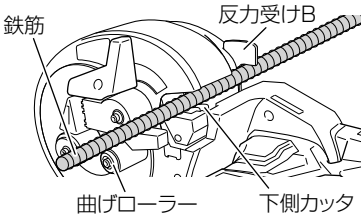
D 16 mm、D 13 mm の 2 本同時切断はしないでください。
機体破損の恐れがあります。

❶ セットダイヤルを「切断」の位置に合わせる



❷ 切断する鉄筋を下側カッタの上にセットする

反力受け B 部にかける鉄筋の長さは十分に確保してください。



❸ 切断する

スイッチロックのどちらか一方向を押して、ロックを解除し、スイッチを引いて鉄筋を切断します。

鉄筋の切断を終了しても、モーターが逆回転して上側カッタが戻り始めるまでスイッチを引き続けてください。

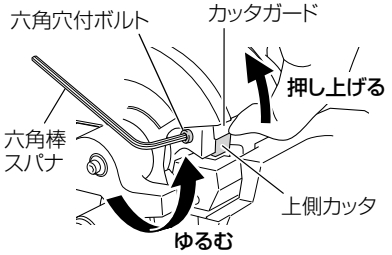
●カッタの交換

P.23 の手順❶～❺の後、以下に従ってください。カッタは上下セットで交換してください。

❶ カッタを取りはずす

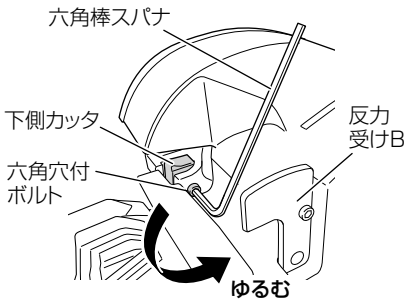
付属の六角棒スパナで六角穴付ボルトをはずすと、上側、下側カッタを取りはずせます。

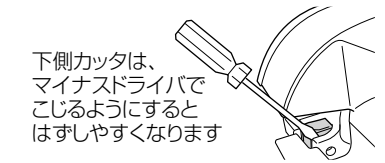
上側カッタの取りはずし



上側カッタはカッタガードを押し上げるとはずしやすくなります。

下側カッタの取りはずし

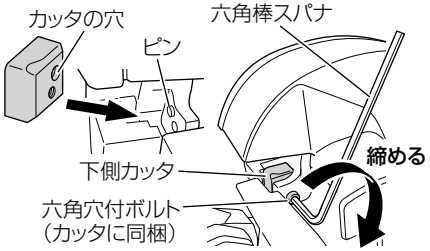




❷ カッタ取付け部に付着している鉄粉を掃除する

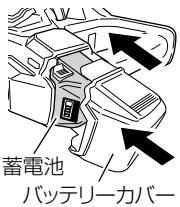
❸ カッタを取付ける

新しいカッタの穴とピンの位置を合わせて、取付け部に入れます。
付属の六角棒スパナで六角穴付きボルトをしっかりと締付け、カッタを固定してください。
六角穴付ボルトは、カッタに同梱されている新しい物に交換してください。



❹ 蓄電池とバッテリーカバーを取付ける

空運転をして、動きに異常がないことを確認してください。



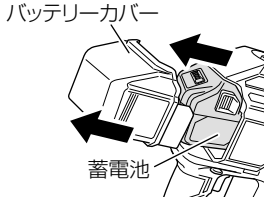
曲げる

●通常の曲げ方法

⚠警告

- **鉄筋 (SD 295、SD 345) 以外の材質を曲げないでください。**
  材料が折れて飛散するなどの恐れや、機体の破損の原因になります。
- **D 10 mm 鉄筋は 3 本以下、D 13 mm 鉄筋は 2 本以下、D 16 mm 鉄筋は 1 本ずつ曲げてください。**

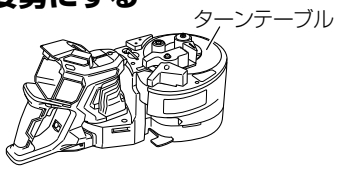
1 バッテリーカバーと蓄電池を取りはずす

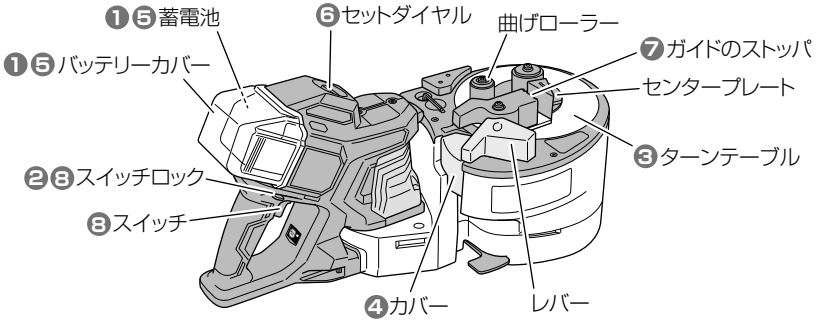


2 スイッチロックを確認する

スイッチロックがロック状態であることを確認してください。

3 ターンテーブルを上にした姿勢にする

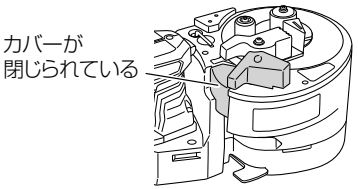




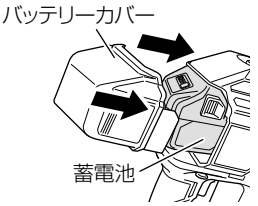
⚠警告

曲げ作業時でも、カッタが動いています。事故防止のため、カッタ部のカバーは閉めてください。

4 カッタ部のカバーが閉じられていることを確認する

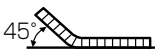
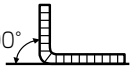
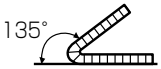
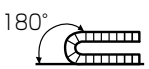


5 蓄電池・バッテリーカバーを取付ける



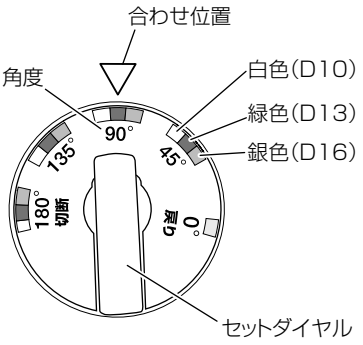
6 曲げ角度をセットする

曲げる鉄筋のサイズ色と角度を、セットダイヤルで合わせてください。

セットダイヤルの角度設定			
			
45°	90°	135°	180°

【鉄筋サイズの合わせ方】
同じダイヤル位置でも、鉄筋の太さの違いにより、曲げ角度に差が生じます。曲げる鉄筋のサイズ色でセットダイヤルの角度を合わせてください。

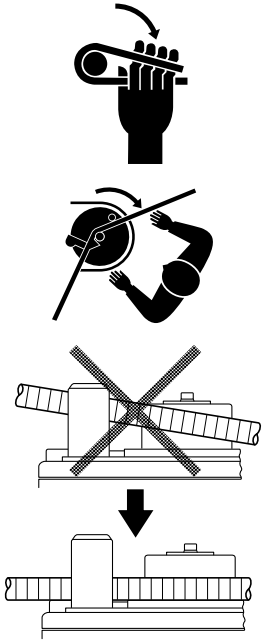
鉄筋のサイズ	表示マークの色
D 10 mm	白色
D 13 mm	緑色
D 16 mm	銀色



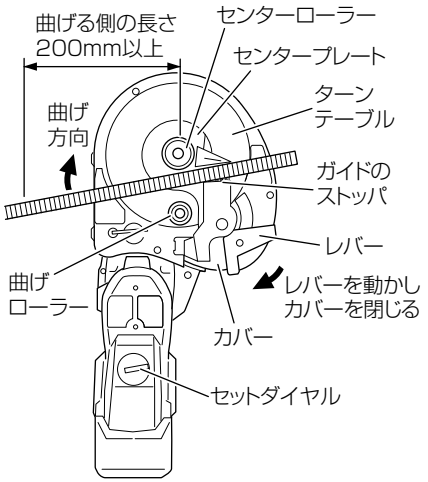
注 鉄筋径や鉄筋材質のばらつきによっては、同じダイヤルセット位置でも曲げ角度が異なる場合があります。合わせ位置は、目安として微調整してください。

⚠警告

- **運転中は、曲げローラー部に手を近づけないでください。**
- **鉄筋の端部同士が接近する位置には、手を添えないでください。**
  大きな角度に曲げると、折り返しにより鉄筋の端部同士が接近して、手を挟み込む恐れがあります。
- **曲げ材料の旋回範囲に人がいないことを確認してから、作業してください。**
- **曲げる側の鉄筋長さは、最低 200 mm 以上確保してください。**
  短いと曲げ加工中に鉄筋がはずれたり、折れて飛散する恐れがあります。(❼の図参照)
- **鉄筋は、センタープレートの上に置き、ターンテーブルの面とほぼ水平になるようセットしてください。**
  鉄筋を上に傾けたままセットして曲げると、曲げ途中に、鉄筋が曲げローラーからはずれ、飛散する恐れがあります。



❼ 鉄筋をガイドのストッパに当て、正しくセットする



❽ 曲げる

スイッチロックを押してロックを解除し、スイッチを引いて鉄筋を曲げます。

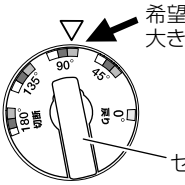
鉄筋の曲げが終了しても、そのままスイッチを引き続けるとモーターが逆回転して曲げローラーが戻り始めます。

戻り始めたら、スイッチをはなしても曲げローラーは自動で元の位置まで戻ります。
(P.19「スイッチの操作について」参照)

●マニュアルモードでの曲げ方法

この機体は、無段変速スイッチを採用していますので、" ダイヤル設定による曲げ " の他、目測で希望の角度に鉄筋を曲げることができます。
P.27「通常の曲げ方法」の手順❶～❺の後、以下に従ってください。

❶ セットダイヤルを希望の角度より大きめにセットする

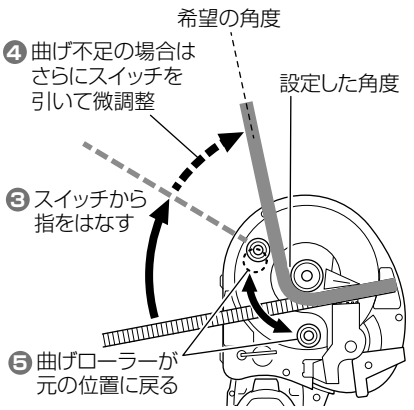


❷ 鉄筋をセットし、スイッチロックを解除する

(P.19「スイッチの操作について」参照)

❸ スイッチを引き、希望の角度に来たらはなす

スイッチを引いている間だけローラーが動きます。少しずつ、何度か引いて角度を調整してください。



❹ 曲がり角度を確認する

マニュアルモードスイッチを押して、曲げローラーを少し逆回転させます。

曲げ角度が希望通りであれば、このまま❺の手順へ進みます。

曲げ角度が足りない場合は、マニュアルモードスイッチを再度押して正転に戻し、もう少し曲げを強くします。

❺ 曲げローラーの位置を元に戻す

鉄筋を希望の角度に曲げ終わったら、逆回転モードのままスイッチを引き続け、ローラを元の位置に戻してください。

❻ マニュアルモードスイッチの逆回転を解除する

曲げローラーが元の位置に戻り停止したら、もう一度マニュアルモードスイッチを押して逆回転を解除してください。

蓄電池を充電する

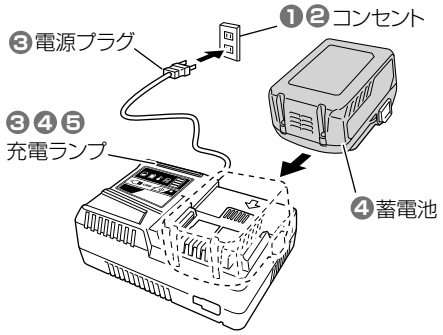
ご使用の前、新品時、長期間ご使用にならなかったとき、残量が残り少なくなったときは、次のように充電してください。

⚠警告

手順❶、❷については、充電器の電源プラグをコンセントにさし込む前に確認してください。

充電時間
BSL 36A18：約 25 分

注 充電時間は使用環境や蓄電池の状態により長くなることがあります。



1 電源を確認する

この充電器は交流 100 V 用です。
200 V 電源や直流電源、昇圧器などのトランス類を使用しないでください。

2 コンセントを確認する

コンセントがガタついていたり、電源プラグが抜け落ちてしまうときは、接続しないでください。
そのまま使用すると危険です。

3 電源プラグをコンセントにさし込む

充電ランプが赤の点滅を繰り返します。
(P.32「充電ランプの表示について」参照)

4 蓄電池を充電器にさし込む

- 蓄電池をしっかりと突き当たるまでさし込んでください。
- 充電を開始すると、充電ランプが青に連続点灯して、充電開始をお知らせします。
- 充電中は、電池容量ランプで充電容量を表示します。

5 充電が終わったら

- 充電が完了すると、充電ランプが緑に連続点灯し、ブザーが「ピー」と６秒鳴ってお知らせします。
- 電源プラグをコンセントから抜き、充電器から蓄電池を抜き取ってください。

●充電ランプの表示について

充電器には、充電状態を表示する「充電ランプ」が付いています。
各ランプの表示内容は以下のようになっています。

ランプ	ランプの表示			表示内容
充電ランプ (赤/青/緑/紫)	充電前	赤点滅	0.5 秒点灯 /0.5 秒消灯	電源にさし込んだ状態
	充電中	青点灯	連 続 点 灯	
	充電完了	緑点灯	連 続 点 灯 (連続ブザー音 : 約 6 秒)	
	高温待機	赤点滅	0.3 秒点灯 /0.3 秒消灯	蓄電池の温度が高くて充電できない (温度が下がると自動的に充電を開始)
	充電不可	紫の速い点滅	0.1 秒点灯 /0.1 秒消灯 (断続ブザー音 : 約 2 秒)	充電器または蓄電池の端子部に異物が入っている

注 一度充電が完了した後、次の充電まで5分程度休ませてください。
同じ充電器を連続して使用すると、充電器が発熱し、故障の原因になります。

●電池容量ランプについて

電池容量ランプによって、充電中の電池の充電容量を確認することができます。

ランプの表示と電池容量は以下のようになっています。

ランプの表示	点滅	点滅	点滅	点滅	点灯
電池容量	25% 未満	50% 未満	75% 未満	75% 以上	充電完了

電池残量表示は、使用環境、電池特性等で多少異なりますので、目安として見てください。

注 充電完了後、しばらくすると電池容量ランプは消灯します。

USB 機器を充電する

⚠警告

- **使用前に、接続する USB ケーブルが損傷していないことを確認してください。**
  損傷した USB ケーブルを使用しますと、発煙・発火の原因になります。
- **使用しないときは、USB 端子にゴムカバーを被せてください。**
  USB 端子にほこり等が付着すると、発煙・発火の原因になります。

充電器 UC 18YDL には、電動工具用リチウムイオン電池を充電する以外に、一般の USB 機器を充電できる USB 端子を装備しています。

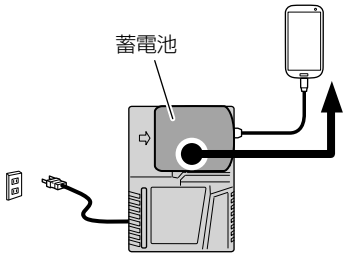
弊社のリチウムイオン電池から携帯電話などの USB 機器を充電することができます。

注
- **USB 機器と蓄電池の充電を同時に行うと、充電時間が長くなります。**
- **USB 機器の充電が途中一時停止する場合があります。**
  (P.38「故障診断」参照)
- **USB 機器を充電しないときは、USB 電源スイッチを OFF にして、USB 機器を充電器から取りはずしてください。**
  USB 機器の故障や蓄電池寿命(充電回数)を縮める原因になります。
- **USB 機器の種類によっては、充電できない場合があります。**

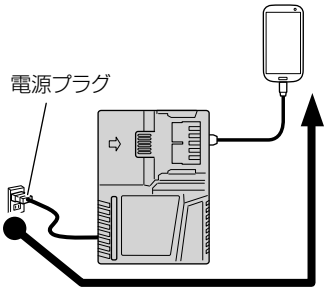
1 充電方法を選択する

充電方法に応じて、蓄電池を充電器にさし込むか、電源プラグをコンセントにさし込みます。

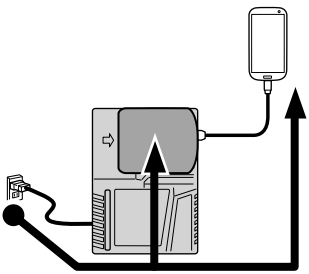
蓄電池から USB 機器を充電



100V コンセントから USB 機器を充電

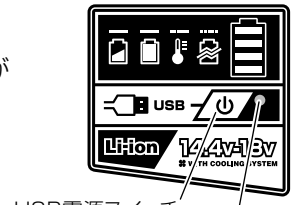


100V コンセントから蓄電池と USB 機器を同時に充電



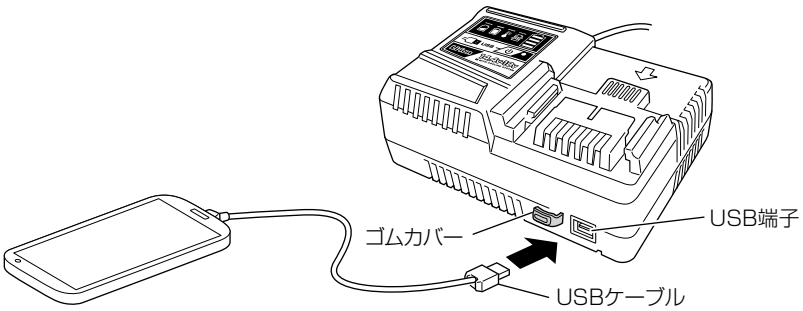
2 USB 電源スイッチを ON にする

USB 電源スイッチを ON にすると、USB 電源ランプが点灯します。



3 USB ケーブルを接続する

ゴムカバーをめくり、ご使用の製品に合った市販の USB ケーブルを USB 端子に奥までしっかりとさし込みます。



- 電源プラグをコンセントにさし込んでいない場合、蓄電池の容量がなくなると、USB 電源ランプが消灯して出力が停止します。
- USB 電源ランプが消灯したときは、電源プラグをコンセントにさし込むか、蓄電池を交換してください。

4 充電が終わったら

- USB 機器の充電が終わっても、USB 電源ランプは消えません。
  充電状態は USB 機器で確認してください。
- USB 電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜きます。
- 充電器から蓄電池を抜き取り、USB 端子にゴムカバーを被せてください。

保守・点検

⚠警告

- **保守・点検の際は、スイッチを切り、スイッチロックをロックの状態にして、蓄電池を工具本体から抜いてください。**
  また、充電器は、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- **保守・点検の際も、保護メガネを使用してください。**
  鉄粉が目に入る恐れがあります。

●カッタの点検とお手入れ

カッタは鉄筋切断の繰り返しにより刃部に、摩耗・変形・欠け等が生じてきます。このまま使い続けますと機体に損傷を与えるだけではなく、さらにカッタの破片が飛散するなどの恐れがあります。

カッタは約 8,000 本位の鉄筋切断を目安に新品と交換してください。また使用する前のカッタの状態点検で異常があれば早めに交換してください。

使用後は、特に刃部周辺やターンテーブル上面をブラシ・エアーガンなどで掃除してください。

●グリップラバー、曲げローラーの点検

グリップラバーや曲げローラーが摩耗すると鉄筋を保持しにくくなり、けがなど事故の原因になります
使用する前に点検した際、摩耗していればお買い求めの販売店に交換を依頼してください。

●機体の点検

各部部品の取付けに、ガタつきやゆるみがないか定期的に点検してください。
ゆるんだまま使用すると、けがなど事故の原因になります。
異常がある場合は、お買い求めの販売店に相談してください。

●モーターの取扱いについて

モーター（内蔵）(P.11「各部の名称」参照）に、油や水が浸入ないよう十分に注意してください。

●端子部（工具本体、蓄電池）の点検

端子部に鉄粉、ほこりが付いていないか点検してください。
作業前、作業後のほかに作業中でも時々点検してください。

●清掃する

機体が汚れたときは、石けん水に浸した布を良く絞ってからふいてください。
ガソリン、シンナー、ベンジン、灯油類はプラスチックを溶かす作用があるので使用しないでください。

●機体や付属品の保管

下記のような場所は避け、温度が 50℃未満で乾燥した安全な場所に保管してください。

注
- **お子様の手が届く場所、持ち出せる場所**
- **軒先など雨がかかる場所、湿気のある場所**
- **温度が急変する場所、直射日光の当たる場所**
- **引火や爆発の恐れがある揮発性物質の置いてある場所**

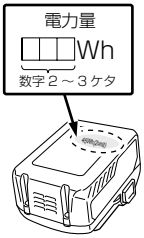
●リチウムイオン電池の輸送について

リチウムイオン電池を輸送する場合、次の点に注意してください。

⚠警告

輸送会社にリチウムイオン電池を含む荷物であること、および電力量を伝えて、輸送会社の指示に基づいた手続きを行ってください。

- 電力量が 100 Wh を超えるリチウムイオン電池の場合は、輸送貨物の分類上、危険物扱いとなり、特別な申請等が必要になります。
- 海外へ輸送する場合、国際法令および輸送先国の規制に従う必要があります。
- BSL 36B18 は工具本体に取付けると 100 Wh を超え、危険物扱いとなります。

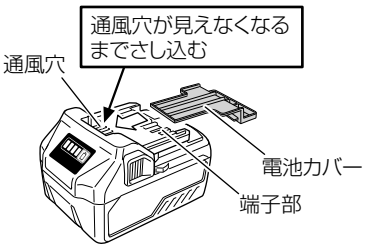


●リチウムイオン電池の保管について

⚠警告

リチウムイオン電池の端子部に導電性のある異物が入り込むと、短絡（ｼｮｰﾄ）して発熱・発煙・発火する恐れがありますので、保管するときは、以下の内容を必ず守ってください。

- **収納ケースに導電性のある切りくずや釘、針金や銅線などの線材を入れないでください。**
- **短絡（ｼｮｰﾄ）するのを防ぐため、蓄電池は工具本体にさし込むか、電池カバーを取付けて保管してください。**



注 **リチウムイオン電池を保管するときは、満充電にして保管してください。**
蓄電池の残量が少ない状態で長期間（３か月以上）保管すると蓄電池が劣化し、使用時間が著しく短くなる、または充電できなくなる恐れがあります。
使用時間が著しく低下した蓄電池でも、充電と使用を２～５回繰り返すと使用時間が回復する場合があります。
充電と使用を繰り返しても使用時間が極端に短い場合は、蓄電池の寿命が尽きたとお考えいただき、新しい蓄電池をお買い求めください。

故障診断

「故障診断」で対応できない場合は、お買い求めの販売店に相談してください。
また、充電器や蓄電池が原因の場合もありますので、充電器と蓄電池を組で持参してください。

1. 工具本体

状　況	原　因	対　策
動かない	電池残量がない	蓄電池を充電してください。
	蓄電池が確実に取付いていない	カチッとなるまで蓄電池を押し込んでください。
	逆回転モードのままになっている	マニュアルモードスイッチを押して、逆回転を解除してください。
突然止まった	過負荷になったため、過負荷保護回路が作動した。	大きな負荷を与えた原因を解消してください。
	蓄電池、または工具本体が過熱状態になったため温度保護回路が作動した。	蓄電池および工具本体を十分冷ましてください。
スイッチが引けない	スイッチロックの押し込みが足りない	スイッチロックを突き当たるまで押し込んでください。
スイッチを引くと異音(ピー)がする	スイッチの引き量が小さい	故障ではありません。 引き量を大きくすると発生しません。
切断が上手にできない	カッタの摩耗・劣化・破損	新しいカッタに交換してください。
	能力(材質・材料径・加工本数)以外の作業をしている	「仕様」欄を参考にして、正しく切断してください。
切断時、鉄筋が保持しにくい	グリップラバーが摩耗している	新しいグリップラバーと交換してください。 交換の際は、お買い求めの販売店に依頼してください。
曲げが上手にできない	能力(材質・材料径・加工本数)以外の作業をしている	「仕様」欄を参考にして、正しく曲げてください。
蓄電池が取付かない	指定以外の蓄電池を取付けようとした	蓄電池はマルチボルトタイプを使用してください。

2. 充電器

状　況	原　因	対　策
充電ランプが紫の速い点滅を繰り返し、蓄電池の充電を開始しない	蓄電池が突き当たるまで、さし込まれていない	しっかりとさし込んでください。
	蓄電池の取付部または蓄電池の端子部に異物が入っている	異物を取り除いてください。
充電ランプが赤く点滅して、蓄電池の充電を開始しない	蓄電池が突き当たるまで、さし込まれていない	しっかりとさし込んでください。
	蓄電池が高温になっている	そのままの状態でも、蓄電池の温度が下がると自動的に充電を開始しますが、蓄電池の寿命を縮める原因になります。 蓄電池を風通しの良い日かげなどで冷ましてから、充電することをお勧めします。
満充電をしても、蓄電池の使用時間が短い	蓄電池の寿命が尽きた	蓄電池を新品と交換してください。
蓄電池の充電時間が長い	蓄電池や充電器の温度、周囲気温などが極端に低い	室内など暖かい場所で充電してください。
	充電器の風窓がふさがった状態になっているため、充電器内部が高温になっている	風窓がふさがっていないようにしてください。
	冷却ファンが回っていない	販売店に修理を依頼してください。
USB 電源ランプが消灯して、USB 機器の充電が停止した	蓄電池の電池残量が少なくなった	電池残量がある、蓄電池と交換してください。
		充電器の電源プラグを 100 V コンセントにさし込んでください。
USB 機器の充電が完了しても、USB 電源ランプが消灯しない	USB 電源ランプは、USB 機器の充電ができる状態にあることを緑色の点灯で表示している	故障ではありません。
USB 機器の充電状態や充電完了がわからない	USB 電源ランプは、充電が完了しても、USB 電源ランプが消灯しない	充電中の USB 機器で確認してください。
USB 機器の充電が途中一時停止した	蓄電池を供給電源にして USB 機器を充電中に、充電器の電源プラグを 100 V コンセントにさし込んだ	故障ではありません。 充電器が供給元電源を判別するため、約 5 秒間 USB 機器の充電を停止します。
	100 V コンセントを供給電源にして USB 機器を充電中に、充電器に蓄電池をさし込んだ	
蓄電池と USB 機器を同時に充電中、USB 機器の充電が途中一時停止した	蓄電池が満充電となった	故障ではありません。 蓄電池が正常に充電完了したことをチェックしているため、約 5 秒間 USB 機器の充電を停止します。
蓄電池と USB 機器を同時に充電する際、USB 機器の充電が開始しない	蓄電池の電池残量が極端に少ない	故障ではありません。 蓄電池の電池残量があるレベルに達すると、自動的に USB 機器の充電を開始します。

メ　モ

メ　モ

メ　モ

ご修理のときは

修理・お手入れ・お取扱いのご相談は、まずお買い求めの販売店にご依頼ください。
転居や贈答品などでお困りの場合は、商品名・品番をご確認の上、お近くの営業拠点へお問い合わせください。

お客様メモ

お買い上げの際、販売店名・製品に表示されている製造番号 (NO.) などを下欄にメモしておくと、修理を依頼されるとき便利です。

お買い上げ日　　年　月　日	製造番号 (NO.)
販売店（TEL）	

全国営業拠点

お客様相談センター　※土・日・祝日を除く　9：00～17：00

●フリーダイヤル
0120-20-8822

※携帯電話からはご利用になれません。
携帯電話からはお近くの営業拠点にお問い合わせください。

※長くお待たせする場合があります。
お急ぎのときは、お近くの営業拠点に直接お問い合わせください。

●営業本部	●北陸支店
TEL (03)5783−0626	TEL (076)263−4311
●北海道支店	**●関西支店**
TEL (011)786−5122	TEL (0798)37−2665
●東北支店	**●中国支店**
TEL (022)288−8676	TEL (082)504−8282
●関東支店	**●四国支店**
TEL (03)6738−0872	TEL (087)863−6761
●中部支店	**●九州支店**
TEL (052)533−0231	TEL (092)621−5772

■営業所の移転等により、上記電話番号に連絡がとれない場合は、下記のアドレスにアクセスすることで、最新の全国営業拠点をご確認いただけます。

https://www.hikoki-powertools.jp/relation/sales.html

WEB にアクセス

バーコードリーダー機能付きの携帯端末より読み取ることで、最新の全国営業拠点をご確認いただけます。

工機ホールディングス株式会社

〒108−6020 東京都港区港南 2 丁目 15 番 1 号 (品川インターシティ A 棟)
営業本部　TEL (03) 5783−0626（代）

電動工具ホームページ――https://www.hikoki-powertools.jp

部品コード　C99737102　909 N